

各関係機関の長 殿

鹿児島県病虫害防除所長

令和4年度技術情報第13号（バレイシヨの菌核病）について（送付）



1月の調査でバレイシヨの菌核病が平年より多く発生しており、今後の被害の拡大が懸念されます。ほ場をよく観察し、早期防除に努めて下さい。

なお、本情報は、病虫害防除所ホームページ（www.jppn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。

令和4年度技術情報第13号

1 対象病虫害 菌核病

2 対象作物 バレイシヨ

3 発生状況

1月の発生ほ場率は、バレイシヨが熊毛地域で33%（平年3%）、奄美地域で45%（平年10%）と高かった（図1、図2）。また、奄美地域では発生程度の高いほ場を認めた。

4 防除上注意すべき事項

- （1）葉茎の折損があると感染しやすいため、防風対策を徹底して行う。
- （2）多湿条件で発生しやすいので、天候や排水状況に注意する。
- （3）定期的にはほ場の見回りを行い、発病を確認し次第、早期防除を行う。
- （4）病原菌は地際部や枝分岐部付近から感染しやすいので、薬剤は対象部位へ十分かかる様に散布する。
- （5）同一の作用特性を有する薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- （6）発病株は周辺株や次作の伝染源となるので、菌核を生じないうちにほ場外へ持ち出し処分する。
- （7）収穫終了後の残渣はほ場外に持ち出す等、適正に処分する。

5 参考データ

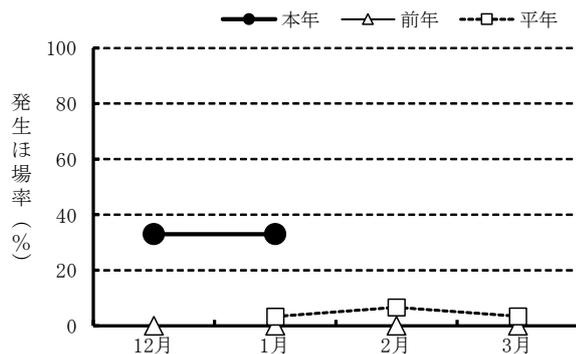


図1 菌核病の発生ほ場率（熊毛地域）

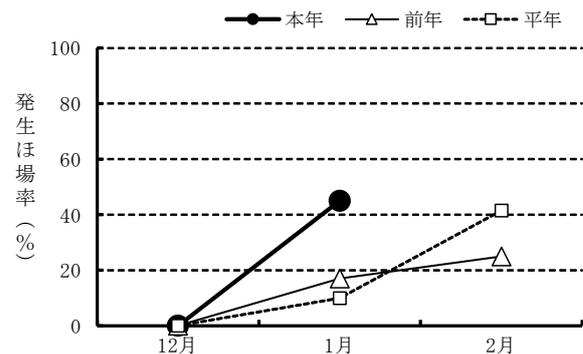


図2 菌核病の発生ほ場率（奄美地域）

表1 バレイシヨ菌核病の防除薬剤

（鹿児島県ホームページ掲載 適用農薬一覧より（令和5年1月27日時点））

薬剤名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
トップジンM水和剤	1000～1500倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	5回以内
フロンスайд水和剤	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	4回以内
フロンスайдSC	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	4回以内

注）農薬の使用にあたっては、必ずラベルの表示を確認し、使用基準を遵守してください。